



近つ飛鳥

令和7（2025）年

5月23日

学校だより 6月号

家庭数

仲間とともにつくる楽しさを

山田 智一

体育館に向かう通路の天井にとっくりの形をした鳥の巣があります。児童朝会で子どもたちに紹介しましたが、コシアカツバメの巣です。

ツバメは、稲作の時期に害虫を食べてくれることから大切にされ、家の軒先に巣を作ると家が栄えるとして、たいそう喜ばれたそうです。人にとってツバメは害虫の駆除に、ツバメにとって人はカラス等の天敵から守ってくれる欠かせない存在として共存してきました。

コシアカツバメは普通のツバメより大きく、その名のとおり尾の付け根のところが薄い赤色になっています。学校のようなコンクリートの建物を好んで巣をつくるそうです。学校の近くにある風土記の丘の管理棟にも見られます。

先日、風土記の丘で、縦割り班による「あすかオリエンテーリング」を実施しました。6年生はリーダーとして下学年に気を配りながら、他の学年は、協力してゴールすることを大切にしてチェックポイントを巡っていきました。子どもたちから「楽しかった」「けんかすることもなく仲良く過ごせた」「リーダーとして活躍できてよかった」との感想があり、大変有意義な活動となりました。

縦割り班活動は、高学年には、リーダーとしての自覚を持ち、みんなのために考えたことを実現できる場として、また、低学年には、集団活動の楽しさや協力することの大切さを学びあう場として大切な機会となっています。今後も「あすかデー」の時間を中心に子どもたちで縦割り班の活動を考えていきます。参加するみんなが楽しい活動になることを子どもたちの力で考えていき、仲間と協力し、時には困難も乗り越えられるような力をつけていってほしいと思います。



「スクールソーシャルワーカーって何するの？」

児童・生徒の家庭・学校・地域等における人間関係に着目し
その環境の改善を目指して「家庭・学校・地域をつなぐ」仕事です。
子どもたちが子どもらしく健全に成長していける環境を
お家の方々、先生方、地域の方々と共に作っていききたいと思います。

SSW 筒井 泉